

事前評価個表

整理番号	20
------	----

地域（地区）名	<small>あいち</small> 始良	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鹿児島県	対象市町村	<small>霧島市</small> 霧島市ほか2市町
事業実施期間	H28～H32（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、鹿児島県の中心部に位置し、北は霧島山系、南は薩摩半島と大隅半島にはさまれた鹿児島湾に面している。</p> <p>本地区の森林面積は66千ha（森林率68%）、対象民有林は55千ha（森林全体の82%）、うちスギを主体とする人工林は36千ha（人工林率65%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、Ⅷ～ⅩⅡ齢級が全体の71%を占めており、森林資源が充実しつつある一方で、間伐が必要なⅣ～Ⅵ齢級の森林が43%を占めており、健全な森林を育成していく上でも間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>特に、本地区は、天降川等を通じた下流域への水の供給源として重要な地域であるが、近年、木材価格の低迷による林業採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退、林業従事者の高齢化等に伴い、保育・間伐等の手入れが遅れた森林が増加するなど、森林の持つ水源涵養等の公益的機能の発揮への支障が懸念されることである。</p> <p>このことから、今後、伐期齢を迎え森林資源が充実してくることもあり、森林の多面的機能の発揮を継続していくためにも、適切な森林整備が重要となっている。</p> <p>具体的には、森林経営計画等に基づき、本事業による幼齢林の適時適切な保育施策を進めるとともに、集約化や森林作業道の整備等、間伐等をより効率的・効果的に行うために必要な基盤整備とあわせて森林整備を積極的に実施する。</p> <p>また、本地区では各市町毎に総合振興計画及び始良地域森林環境保全整備事業計画を策定しており、豊富な森林資源を活用しつつ地域振興を目指していることである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,895ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：3,360m 林業専用道</p> <p>総事業費：2,959,947千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.51 （総便益(B) = 23,103,680千円、総費用(C) = 5,125,463千円）</p>
評価結果	<p>必要性：<small>かん</small> 水源涵養等の公益的機能の発揮や、木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：始良地域森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:鹿児島県

地域(地区)名:始良^{あいら}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	6,584,949	
	流域貯水便益	2,742,132	
	水質浄化便益	6,018,248	
山地保全便益	土砂崩壊防止便益	191,362	
環境保全便益	炭素固定便益	3,061,072	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,997	
	木材利用増進便益	3,013	
	木材生産確保・増進便益	3,707,956	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	51	
	森林管理等経費縮減便益	3,358	
	森林整備促進便益	705,808	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	81,282	
維持管理費縮減便益		1,452	
総 便 益 (B)		23,103,680	
総 費 用 (C)		5,125,463	
費用便益比	$B \div C = \frac{23,103,680}{5,125,463} = 4.51$		

平成27年度事前評価

【鹿児島県：始良】 概要図

凡 例	
	計画区境
	事業区域
	森林整備



瀬戸平山1, 3号支線
(始良市 蒲生町白男 地内)

白尾谷線
(霧島市 国分上之段 地内)

凡例	
	計画区境
	事業区域
	森林整備